

# 総合的な学習の時間における「目久尻川」の調査活動について

綾瀬市立城山中学校

## 1. 実践の内容

本校の1年生は「地域を知る」というテーマを基に、「総合的な学習の時間」において、調べ学習や地域調査を行い、その成果を総合学習発表会において6～7人のグループごとに発表している。

本年度は、河川に関する調査として、5グループ33名が「NPO法人 ふるさと環境市民」の協力を得て、本校のすぐ近くを流れる目久尻川の調査を行った。パックテストによるCODの測定を行い、目久尻川の水質は比較的清いであること、昔の目久尻川にいた生き物が消えていることがわかった。調査結果をもとに、失われた自然をどのようにして取り戻すかということを考えて。また、「市の鳥」として制定されているカワセミを間近にした生徒もおり、その美しい姿を写真に収めていた。

## 2. 実践の結果（生徒の声）

- ・自然の大切さや、自然は簡単には守れないという事がわかった。川は、一人ひとりの心がけできれいになったり、汚くなったりする事がわかった。
- ・昔の綾瀬はきれいな目久尻川が流れていたのに、汚くなってしまった。ゴミはそこらへんに捨てずに、目久尻川をきれいになりたい。
- ・目久尻川は近所の人などがゴミを捨てないでという看板を設置したので、きれいになってきている。僕はこれからもゴミを捨てないようにしたい。



## 3. 実践のポイント

6～7人のグループで、「地域」に関して調べたいテーマを自由に設定させた。生徒主体であったため、「目久尻川」を調査したグループにおいても、設定したテーマを深く探究することができた。

「NPO法人 ふるさと環境市民」のご指導のもと、「川を汚さない」というモラルの向上に繋げることができた。

